

「儲かる農業を目指して」



尾崎 嘉寿 (44歳)
(四国中央市)

Uターン

1 就農の動機・理由

県外のかぶを生産する農業法人で農場長として10年務めた。ビジネスとして農業経営をする社長に憧れ、「自分も稼げる農業をしたい」と思い、Uターン就農を決意した。

2 農業経営の概要

○経営の展開

項目	就農時の経営 (令和3年)	現在の経営 (令和8年)	将来の経営 (令和13年)
労働力	本人 父、母	本人 父、母 従業員2名、 パート2名	本人 従業員5名 パート10名
経営耕地	水田 35a 畑 40a 樹園地 38a	水田 15a 畑 710a 樹園地 18a	水田 30a 畑 1,400a 樹園地 10a
経営内容	水稻 35a さといも 30a やまのいも 10a 不知火 20a 甘平 10a カラ 8a	水稻 15a かぶ 650a さといも 25a スイートコーン 25a きゅうり 10a 不知火 10a カラ 8a	水稻 30a かぶ 1,200a さといも 50a スイートコーン 100a きゅうり 10a かぼちゃ 30a なす 10a 不知火 10a

○農業用施設

倉庫	1棟
冷蔵庫	1台
プレハブ冷蔵庫	1台

○主要農業機械

トラクター	2台
田植機 (4条)	1台
コンバイン (2条)	1台
管理機	1台
マルチャー (管理機用)	1台
肥料散布機	1台
動力噴霧器	1台
かぶ洗浄機	2台
軽トラック	2台
2tトラック	1台
みかん選果機	1台
フレールモア	1台

3 あしあと

(1) 就農までの主な経歴

出身地	愛媛県四国中央市
職歴	農業法人 18年
就農研修歴	なし
就農年月	令和3年4月

(2) 就農時の思い

県外の農業法人で大規模経営を経験し、その後Uターン就農したとき、他県との経営規模や経営方針等にギャップを感じたが、「まだまだ伸びしろがある」と思い、規模拡大や地域振興等の目標に向かって様々なことに挑戦することとした。

4 就農時の取り組み

(1) 技術の習得

農業法人に勤務していた時に培った大規模経営ならではの生産効率を追求

した栽培技術を生かして農業経営を行っている。

また、近年の気候変動に的確に対応していくため、毎年、新たな資材の導入や栽培方法に挑戦し、技術習得を図っている。

(2) 資金の準備

日本政策金融公庫の資金を活用し、規模拡大を図った。

(3) 農地・住宅の確保

規模拡大に向け、近隣農地を借入れ、農地を増やしている。

住宅については、両親と同居しているため、特に準備する必要はなかった。

(4) その他苦労したこと

就農当初、四国中央市産のかぶは市場関係者から認知されておらず、市場のせりの良い値段がつかず苦労した。

そこで、市場に何度も出向き市場関係者とコミュニケーションをとるなど、信頼関係の構築に努め、評価されるまで地道に出荷を続けた。

5 農業経営の特徴

県外の農業法人で培ってきた技術を生かし、「生で食べても美味しいかぶ」をコンセプトに、かぶを主力品目にして経営を拡大してきた。販路拡大も積極的に行うとともに、生産から販売まで一貫して行える経営体系を確立してきた。

今後も機械化や規模拡大を図り、更なる生産性・収益性の向上を目指す。

6 これからの夢

農業法人を令和7年2月に設立した。今後、地元の高校生や若者を雇用することで四国中央市の農業を元気にしたいと考えている。

また、「儲かる農業」を実現し、自分の姿を見て「農業をしたい」という若者を育て、一緒に農業をしたいと思う。

7 成功したキーポイント

さまざまな出荷先で素晴らしい仲間に出会ったこと。

8 就農を目指す方へのアドバイス

近隣の農家や出荷先、バイヤーなど「人とのつながり」を大切にし、「良いもの」を作ったら必ず結果は返ってくる。「農業をしたい」と思ったら、農業の魅力を伝えるので、一度おざき農園合同会社を訪ねてほしい。

○ 指導機関からのひとこと

尾崎さんは「儲かる農業」の実現に向けて日々農業に励まれているだけでなく、新規就農者の確保に向けて、就農相談への対応や若手農家の育成などに積極的に取り組み、四国中央市の農業振興に活躍されています。

今後、おざき農園合同会社が地域のリーダーとなり、農業の維持・発展に貢献されることを期待します。

執筆機関

東予地方局農業振興課地域農業育成室
四国農業指導班
電話番号 0896-23-2394



かぶの収穫作業